

水道事業の基盤強化に貢献

水道メーターナビゲーションシステム

特許取得
第7460215号



水道メーターの位置情報の自動収集や、検針業務の負荷軽減を実現します!

特徴 1 検針と同時にメーター位置を測量し、位置情報を電子化

みちびきのSLAS*を活用
*サブメーター級測位補強サービス

特徴 2 ナビゲーション機能でメーター位置までの方角、距離を表示

官民連携・広域連携推進

メーター位置情報をデータ化することで、自治体間での広域連携の協議推進や、官民連携でのデータ活用による課題解決に繋げることができます。

災害時の対応力強化

メーター位置情報を電子化することで、災害時の情報共有がスムーズになり、漏水箇所の早期発見など、緊急時の迅速な復旧を図ります。

水道施設台帳の整備促進

検針時に併せてメーター位置を測量するため、別途での位置調査が不要となります。改正水道法における台帳整備の義務化対応の促進を図ります。

システム構成



※写真・イラストはイメージです。

お問合せ

特許取得



コストを抑えて高精度！ 短期間でメーター位置情報を完全収集！

[水道メーターナビゲーションシステムの概要]

検針と同時にメーター位置を測量し、位置情報を電子化します。

※特許取得済みシステム（特許番号：第7460215号）

[水道事業者様が困っていること]



メーターの位置は、メーターの調査や交換に必要な情報ですが、現在の状況ではメーターの位置情報が十分に正確ではないため、その特定に時間がかかっています。

(理由)

- 1.メーター位置は工事完了後に提出される紙の設計書を基に管理されていますが、ユーザによっては紙のまま保管したり、紙の設計書からトレースしたマッピングシステムを使用しているため、紛失や登録誤りによりメーター位置の正確性が低下します。
- 2.メーター位置や地図の情報は一度システムに登録されると、あまり更新されません。そのため、メーター位置が変更されたり、建物が変わったりすると、正確なメーター位置が分からなくなることがあります。

[水道メーターナビゲーションシステムのメリット]

- 自動的に位置情報を収集**： 通常の検針業務中に位置情報が自動的に収集されます。
※検針員の特別な操作は不要で、負担が増えません。
- 調査費用不要**： 検針と同時に位置情報を収集するため、別途の位置情報調査費用はかかりません。
- 精度向上**： 検針回数が増えるごとに位置情報の精度が向上します。
- 常に正確な情報**： 定期的な検針により常に正確なメーター位置情報が収集されます。

[水道メーターナビゲーションシステムの主な機能]

- テキスト形式での位置情報出力**： 収集した位置情報をテキスト形式で出力することが可能です。これにより、様々なマッピングシステムに位置情報を簡単に取り込むことができます。
- ナビゲーション機能**： メーター位置までの方向と距離を示します。